

平成 29 年 2 月 18 日

香美市教育長 時久 恵子 様

特定非営利活動法人たびびと
理事長 塩田 正興
香美市会員 坂本 壽加

新図書館への防音多目的室のご提案（案）

静かな録音室が欲しい これは、2008 年 8 月、視覚に障害のある方へ『声の広報香美』のサービスを始めた私達 NPO 法人たびびとメンバーの当初よりの願いです。

私達たびびとは 1992 年よりボランティア活動を始め、2008 年より声の広報香美や香美市社協情報を作成しています。

今、香美市の” 知の拠点 ” となる新図書館の建設にあたり、録音室にも転用できる防音の多目的室をつくって頂き、そこで「文字情報の利用が困難な人」のために、聞きやすい録音図書を作成したい、という私達の声をお届けします。

「文字情報の利用が困難な人」の読書・情報環境を整えること自体に反対の方は少ないと考えます。しかし、現状は、その活動の多くの部分をボランティアが担っており、基本的にはボランティアの自宅録音です。犬の鳴き声や車の騒音、そして、家庭内のドアの音などの生活音を完全にシャットアウトすることはむづかしく、悩みの種でした。録音室があれば、より質の高い「声の広報香美」の作成ができます。

録音室は、本来個別の設備としてある方が性能自体としては高いと思います。一方、限られたスペース・予算の中で、多くの方にとって利用しやすい建物を目指すことは、とても大切なことと考えます。

そこで、録音室専用の部屋ではなく、ある程度の広さを持った（24m²程度）防音・遮音多目的室とし、読み聞かせ等声や音を出すことに気兼ねのない部屋とし、多様な活用を図っては如何でしょう。床面は、防音等するほど暖かいものとなり（畳でも可）、幼児を横にすることもできます。そして、親の立場とすれば、子ども達が騒いでも図書館の他の利用者の皆さんに気兼ねなく過ごせる場所があれば大変助かります。

ご提案する「防音多目的室」はボランティア活動を支え、かつ、子どもの成長によりそい夢を育て、発展すれば文化活動等にも活用できます。

私達は、新図書館に年齢・国籍・障害のあるなしにかかわらず、利用できるこのような多目的室があることで、図書館の姿勢が見え、意外に知られていない録音図書等とそれを支えるサービスの PR にもなると思います。「防音多目的室」は、みんなが集い憩う“知の拠点”のシンボルとなるのではないのでしょうか。

豊かな自然に恵まれた香美市に、学ぶ深い喜びとつながり集った人々の暖かい交流、そして、その中で育つ子ども達が未来に香美市を伝えていく図書館がある。こうしたイメージの中で、「防音多目的室」は大きな役割を担えるものと考えます。

このように、私達は録音室にも転用できる「防音多目的室」を提案しますので、ご検討をよろしくお願いいたします。
以上